

六甲高山植物園 アジサイに寄生する植物 キヨスマウツボが見頃です!

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)が運営する六甲高山植物園では、アジサイに寄生する植物「キヨスマウツボ」が見頃を迎えています。

キヨスマウツボは、山地の木陰に生育する寄生植物で、当園で栽培しているアジサイの根に寄生しています。梅雨の一時期にしか姿が見られないため、希少な植物として園内でも人気があります。



◆キヨスマウツボ(ハマウツボ科)

日本では北海道～九州の山地の木陰に生え、カシ類、アジサイ類などの樹木の根に寄生する植物です。高さは5～10cmで、どの根からも出てくるわけではなく、条件があった限られた場所でのみ見られます。花色は、他の植物に寄生して養分を獲ているため、葉緑素がなく白色です。千葉県清澄山で採集され、花がウツボグサと似ていることからこの和名がつけられました。開花後に花が黄色に変色するため、「オウトウカ(黄筒花)」ともいわれます。兵庫県立人と自然の博物館の客員研究員である黒崎史平氏によると「キヨスマウツボは寄生植物であるため、栽培が非常に困難で、本来自然度が高い場所では見られない。六甲高山植物園でキヨスマウツボを觀賞できるのは、本園が自然を活かした環境である事に起因しており、植物園の中でも稀である。」との事です。

当園に咲くキヨスマウツボは、6月4日から咲き始め、6月下旬頃までお楽しみいただける見込みです。



6月6日のキヨスマウツボの様子

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】3月19日(土)～11月23日(水・祝) 【休園日】9月1日(木)、8日(木)

【開園時間】10:00～17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)620円/小人(4歳～小学生)310円/シニア(65歳以上)520円